

シラバス

授業科目名	年度	学期	開講曜日・時限	学部・研究科など	担当教員	配当年次	単位数
社会学演習（3）（6）	2020	通年	金4	文学部・社会学専攻、 社会情報学専攻（情報コミュニケーションコース）	矢野 善郎	3年次配当	4

履修条件・関連科目等

授業で使用する言語

授業で使用する言語（その他の言語名）

授業の概要

自由報告（卒論プロポーザル）、理論報告、議論の分かれる社会問題を取り上げたディベート（討論）を行ってもらう実践編の3本立てです。

科目目的

社会学の基本的な理論を学びつつ、広い意味での集会的な意志決定について考え、実践的にトレーニングすることをメインテーマにします。

到達目標

授業計画と内容

- 1 インTRODクシヨン
- 2 ディベート肩慣らし
- 3 四年生の報告・三年による理論サポート
- 4 同 行為・行動
- 5 同 創発特性
- 6 同 機能
- 7 同 役割
- 8 同 規範
- 9 同 システム
- 10 同 合理的選択
- 11 同 集会的ジレンマ
- 12 政策ディベートの基礎・合宿準備
- 13 政策ディベート・打ち合わせ
- 14 政策ディベート・中間報告
- 15 三年生の報告・四年による理論サポート
- 16 同 相互行為
- 17 同 消費社会
- 18 同 資本主義の精神
- 19 同 ナショナリズム
- 20 同 監視
- 21 同 形式合理性
- 22 同 エリート
- 23 同 官僚制の逆機能
- 24 同 アノミー
- 25 同 意図せざる結果
- 26 公開ディベート企画
- 27 公開ディベート準備
- 28 公開ディベート

（※重要：ゼミの発表内容は、実際には、受講者のテーマによって決まります。授業計画には、一年間で話題に出るである可能性の高い理論的視角をならべています。これは事前に予想しようもないゼミ授業についても、全ての予定回に具体的なテーマを事前に書かねばならないとする「行政指導」に肅々と従ったものです。上記のような多くの理論的視座が登場するでしょうが、登場順番・内容が変更になる場合もあることをあらかじめご容赦下さい）

授業時間外の学修の内容

授業時間外の学修の内容（その他の内容等）

夏合宿を行う予定です。日程、場所、方法についてはゼミで討論して決めることにします。いずれにせよ事前に準備した内容について、学外（場合によっては国外？）学生等とディベートする合宿となるでしょう。年度末には、恒例化している「公開ディベート」も実施する予定です

授業時間外の学修に必要な時間数／週

成績評価の方法・基準

成績評価の方法・基準（備考）

毎回の議論への参加と寄与度 40%、報告・理論サポート30%、ディベート 15%、合宿への寄与度15%
 なお、4年次以上で履修する社会学演習（6）は卒業論文あるいは卒業研究論文の合格をもって単位が与えられます。この点をくれぐれもご注意ください。

課題や試験のフィードバック方法

課題や試験のフィードバック方法（その他の内容等）

アクティブ・ラーニングの実施内容

アクティブ・ラーニングの実施内容（その他の内容等）

授業におけるICTの活用方法

授業におけるICTの活用方法（その他の内容等）

実務経験のある教員による授業

【実務経験有の場合】実務経験の内容

【実務経験有の場合】実務経験に関連する授業内容

テキスト・参考文献等

テキストは特になし。毎回発表者がレジユメを配布します。

その他特記事項

卒論執筆を前提しております。参加者は、卒論も書くものと思って下さい。卒論のテーマの制限はありません。アドバイスはしますが強制はしません。ディベートで具体的に取り上げる問題は、参加者の興味（卒論テーマ）や、時事的な情勢をみて討論で決めます 他人に迷惑にならない限り飲食自由（差し入れ歓迎）。出席はもちろん必須

参考URL

コメント1

コメント2

コロナ禍で対面的な授業ができない間は、WEBEXで授業を行いたいと思います
コロナに屈せず、中身はあまり変えないで行いたいと思います。

プリントなどはmanabaのニュース欄に添付して配布します。事前にアクセスしてダウンロードしてみてください
金4限 になりましたら、manabaでの最新のニュース欄での指示に従ってWEBEXにアクセスしてみてください

コメント3

コメント4
